自然学習講座

テーマ：稲わらで工作しよう！

日　時：令和8年12月27日(日)午後1時から3時まで(雨天決行)

講　師：水元かわせみの里専門員

参加費：無料　　定員：20人

受付開始：令和8年12月2日(水)

集　合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受　付：令和8年12月13日(日)までWeb・電話で受付。応募多数の場合抽選。



稲わらでしめ飾りなどを作り、昔ながらのイネの活用方法について体験します。

※ 野外での観察もありますので、動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。
※ 小学3年生以下は保護者同伴。

イベント・ガイドウォーク

フォトコンテスト作品募集

募集期間
令和8年12月2日(水)～
令和8年12月25日(金)

葛飾区内で撮影された生きものの写真を募集します。応募方法は、水元かわせみの里などで配布される募集要項をご覧ください。




ガイドウォーク

1回目　11時から30分間
2回目　13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。
ボランティア活動日はボランティアさんが野草園を案内します。




水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和３０年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通じて、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



- 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)
- 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)
- お問合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201　東京都葛飾区水元公園8番3号
- 交通
  京成バス東京
  バス停の場所は、5ページの地図をご覧ください。

水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ) 金町駅南口→水元公園→金町駅南口 水元かわせみの里下車　徒歩1分	金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口(金61系統) 水元五丁目 または 大場川下車　徒歩5分

※ お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。

葛飾区公式HP　ブログ　Facebook　X（旧Twitter）



水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和8年 11月20日
（通算第236号）

水元小合溜の生きもの：227

ケヤキ

ニレ科 ケヤキ属
樹高 7～25m
果熟期 10～11月

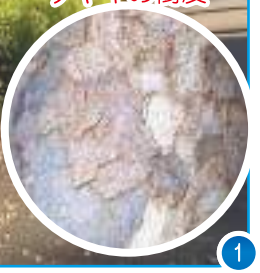


特徴的な樹形と種子散布

ケヤキは枝を大きく横に広げ、ほうきを逆さにしたような美しい樹形になるのが特徴です。秋になると葉が黄色や赤褐色に色づき、やがて小さな種子が枝葉と一緒に落ちます。葉はプロペラのような役割を果たし、風に乗って種子を親木から遠くへ運びます。

樹皮と虫の関係

ケヤキは成長するにつれて樹皮が厚くなり、表面に深いひび割れができるのが特徴です。古い木になるほどゴツゴツとした表情に変化し、この割れ目や隙間は、昆虫などの小さな生きものの隠れ場所になります。樹皮の隙間をよく観察すると、身を潜めた虫たちが見つかるかもしれません。


ケヤキの樹皮

発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、
お散歩隊が見つけて紹介します！



11/5 ジョウビタキ　10月頃に渡ってくる冬鳥で、早春まで見られる。「ヒイッ、ヒィッ」と高く綺麗な声で鳴く。



11/5 ヒドリガモ　秋に飛来し、早春まで見られる冬鳥。オスはレンガ色の頭にクリーム色の筋模様が特徴的。



11/5 ミスジマイマイ　3本の筋模様を持つというのが名前の由来だが、個体によって筋模様が無いものもいる。



11/5 ヌスビトハギ　果実は服によくくっ付く。果実の形が盗人（ぬすびと）の足跡に似ていることが名前の由来。



11/3 コムラサキ　水辺のふれあいルーム目の前の岩場で実っている。ジョウビタキやメジロなどが食べに訪れる。



11/5 サザンカ　秋から冬に花を咲かせる。さまざまな品種があり、場所によっては八重咲きの花も見られる。



11/5 クヌギ　もじゃもじゃ帽子（殻斗）が付くどんぐりの一種。葉っぱはクリの樹と似ていて、識別が難しい。



11/5 マユミ　ピンク色の果皮が裂け、中から赤い種子が顔を出す。それを食べに、メジロなどの小鳥も訪れる。



11/7 セイタカアワダチソウ　ポプラ並木沿いの生垣から出ていた黄色い花。よく花粉症の原因と勘違いされる。

専門員コラム　「植物の不思議な力・アレロパシー」のお話

公園内でもあちこちで見られるセイタカアワダチソウ（⑨）。その名の通り、背丈が人の身長を超えるほど高く成長します。北アメリカ原産の外来植物で、明治時代に観賞用や蜜源植物として日本に持ち込まれました。繁殖力が強く、地下茎によっても増えるため、現在では全国各地に広がっています。耕作放棄地などでもまっ先に群落を優占する様子が見られ、『要注意外来生物』に指定されています。

セイタカアワダチソウは、根や地下茎から他の植物の生育を妨げる化学物質を放出する「アレロパシー（他感作用）」という機能があります。これにより、周囲に生えるススキやヨシなどの在来植物の発芽や成長が抑えられ、セイタカアワダチソウが群落を優占する一因となっています。しかぁぁし！この物質は自分自身にも影響し、群落はそのうち衰退していくようです。純粋にスゴイと言いづらい能力…。

ただし、群落が衰退する原因は、自滅だけではないようです。じつは、アレロパシーは他にも多くの植物が持っている機能であり、例えば身近なヨモギも、アレロパシー物質を出すことが知られています。植物たちは動くことができなくても、化学物質を通じて互いに影響を与えあっているのです。紅葉で植物の目立つこの秋、植物同士の目に見えない関係にも、ぜひ注目してみてくださいね。（稲場）



● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

ボランティア活動報告

水元公園ふれあいフェスティバルに出展しました！

11月3日(火・祝)に水元公園で開催された『水元公園ふれあいフェスティバル』に出展し、水元公園で見られる生きものの展示や、どんぐりパチンコなど、自然物と触れ合いながら遊べるコーナーを設け、生きものの解説案内や施設紹介のお手伝いをしていただきました。


カワセミの標本や、カメ・水生昆虫などを展示し、キッズボランティアが来場者へ紹介しました。


カワセミが食べる生きものだけが釣れるゲーム。カワセミは何を食べているのかな？


どんぐりパチンコで、ドングリを食べる生きものなどについて学びながら遊んでもらいました。


来場者に、好きなドングリで作ったコマをプレゼントし、回して遊んでもらいました。

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方個々人が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加していただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

■活動内容　水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境･緑化フェアなどへの参加
■募集期間　随時募集しています
■対　　象　18歳以上の方(原則)
■活 動 日　月4回程度(定例活動日　第１、３土曜日、第２、４木曜日)
■申し込み･お問い合わせ　水元かわせみの里　03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間


植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ


中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生きものの調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助


虫とりキットを作ろう

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- 生物関係のクラブ活動の補助
- 大学、専門学校の実習の受け入れ
- 福祉系団体への自然解説
- 歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。
※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里　03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの 11月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。
様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

11月の見頃

ツルウメモドキ



他の植物に巻きついて伸びるツル植物で、野草園では柵に巻きついて、赤い果実を実らせています。
夏はキバラヘリカメムシなどが、木の汁を吸いに集まっている様子がよく見られていましたが、これからの冬の時期は、ツグミやヒヨドリなど、様々な野鳥たちの大切な食糧になります。

